

北欧の風 道の駅とうべつ 成功へのキーマン

(株)tobe ゼネラルマネージャー

うらの たかし
浦野 貴司 さん

9月23日にオープンの「北欧の風 道の駅とうべつ」の指定管理を受けた株式会社tobeでゼネラルマネージャーを務める浦野貴司さんにお話を聞きました。



前職の経験を活かして

前職は、デパートで食品販売、新規事業の立案、新店舗の立ち上げを担当していました。担当した主な新規事業は、道内に4店舗ある「きたキッチン」や北海道のアンテナショップとして道外に6店舗ある「北海道どさんこプラザ」の立ち上げです。今の仕事も、道の駅という大きな店舗を立ち上げ・運営していくので、これまでの経験が役立っています。現在役場内にある事務所は、9月から道の駅の中に移転します。現在のところフルタイム職員は5人。パートも含め、今後も職員採用を行い、開店前には総勢20人くらいの体制にしたいと考えています。

当別の新商品開発の可能性

新商品が開発された時、これまでは町内外でのイベント開催等に試食や販売を行ってきたと思いますが、短時間の評価では本当に「良いものなのか」「売れるものなのか」判断するのが難しかったはず

です。しかし、多くの人が集まる道の駅で販売できると、商品の人気度がわかり、商品開発のブラッシュアップも可能となってきます。これからは道の駅を販売拠点として当別町が新商品開発を進めていけるでしょう。プロショップでは主にスイーツを販売し、当別産米粉を使用した和菓子やロイズのパンも販売します。どちらも道の駅限定の商品となりますので、ぜひご賞味ください。

何度も来たくなる道の駅に

小樽から千歳へとつながる国道337号に面して道の駅はあるため、長距離ドライバーの休憩場所となることは間違いないでしょう。一方、バイクでツーリングをしている方から、「ツーリングでこの道を通る人は結構多いから、立ち寄る人が多いんじゃないかなあ」という話も聞きました。道の駅からの景色は、札幌中心部から30分程度の所とは考えられないような雄大な景色が広がっているのです、お客さんも満足するのではないかと思います。

ます。オープンして1カ月は来場者が多いと思いますが、その間にリピーターを作り、来場者を確保していきたいです。また、「北欧の風 道の駅とうべつ」をより知ってもらうためテレビ局ともタイアップして、各出店者の顔を出しながらオープンまでの経緯、ストーリー性を持たせた映像も現在作成中です。商品・サービス・景色などを引き付けるものがあっても、接客が悪いと人は離れてしまいます。インフォメーションセンターの機能を発揮するためにも、地域をよく知る地元の方を採用しつつ、レストラン・テイクアウトコーナー・農産物直売所の方などと一体となって、徹底した「おもてなし」を心掛けて取り組んでいきたいと思っています。

前職の経験から、お客さんとの関係を一番大事に考えている浦野さん。道の駅に立ち寄った皆さんが心地いいと感じられる空間をつくってくれるはずですよ。

(8月21日取材)